

**平成 17 年度**

**企画調整局予算要求方針**

# - 目 次 -

1	平成 17 年度企画調整局予算要求総括表 .....	1
2	平成 17 年度予算要求に当たっての基本的考え方 .....	2
3	予算要求の重点事項	
	元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ .....	4
	健やかに暮らせる共生の街さっぽろ .....	4
	世界に誇れる環境の街さっぽろ .....	5
	芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ .....	7
	ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ .....	8
	その他（企画調整局独自重点事項） .....	8
4	事務事業の総点検	
	事務事業の見直し .....	10
	団体補助金 .....	11

# 1 平成 17 年度企画調整局予算要求総括表

(単位：百万円)

区 分	平成 16 年度 予 算 額 ( A )	平成 17 年度 要 求 額 ( B )	増減額 ( B ) - ( A )	増減率 ( B - A ) / A
企画部	9 3 8 ( 6 5 8 )	5 , 7 6 9 ( 2 , 0 0 0 )	4 , 8 3 1 ( 1 , 3 4 2 )	5 1 5 . 3 % ( 2 0 3 . 8 % )
情報化推進部	4 , 0 4 0 ( 3 , 0 9 6 )	3 , 9 2 2 ( 3 , 0 2 5 )	1 1 7 ( 7 1 )	2 . 9 % ( 2 . 3 % )
計画部	1 4 5 ( 1 3 8 )	1 5 0 ( 1 4 3 )	5 ( 6 )	3 . 3 % ( 4 . 2 % )
総合交通計画部	7 5 9 ( 7 4 4 )	7 7 1 ( 7 4 0 )	1 2 ( 4 )	1 . 6 % ( 0 . 5 % )
合 計	5 , 8 8 2 ( 4 , 6 3 6 )	1 0 , 6 1 2 ( 5 , 9 0 8 )	4 , 7 3 1 ( 1 , 2 7 3 )	8 0 . 4 % ( 2 7 . 5 % )

1 派遣職員に係る人件費を含まず

2 ( )内は一般財源額

3 本表は百万円単位のため、増減額及び増減率が一致しない場合がある

## 2 平成17年度予算要求に当たっての基本的考え方

大きく変化する社会経済情勢の中、これに相応するまちづくりを進めるためには、厳しさを増す財政状況を踏まえ、より一層市民ニーズを的確に把握し、効果的で重点的な施策を展開することが必要であります。

こうしたことから、企画調整局では、今後とも効率的な事務執行を推進するとともに、施政方針「さっぽろ元気ビジョン<sup>1</sup>」の実現に向けて、次のとおり重点化を図り、予算要求を行うこととしております。

### 1 まちづくりの推進

まちづくりに当たりましては、既存の市街地やインフラ<sup>2</sup>を再生・活用し、環境との調和を図りながら、コンパクトな市街地の形成を目指すこととしております。

そのためには、日常的な生活拠点である地域中心核や地域拠点の育成・整備、人づくり・地域貢献の仕組みづくりなどを進め、バランス良く都市全体の充実を図ることが重要であります。

そこで、平成17年度には、「札幌新まちづくり計画<sup>3</sup>」における重点事業を推進するとともに、次の項目を重点として、まちづくりを推進してまいります。

- ◇ 市民との協働・広域連携を進めるとともに、楽しく快適な「都心」の魅力と活力の向上に取り組む。
- ◇ さっぽろを支え発信する人づくりを行うとともに、地域社会への貢献を果たす市立大学の設置を目指す。
- ◇ 景観や公共的空間のルールづくりなど、豊かな都市空間の創造を目指す。
- ◇ 公共交通を軸とした交通体系の確立、環境に負荷をかけない公共交通の利用促進を図る。

<sup>1</sup> さっぽろ元気ビジョン：「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街」の実現を基本理念として公表した札幌市の施政方針のこと。

<sup>2</sup> インフラ：インフラストラクチャー。交通・運輸網、上下水道、電力などの経済基盤のこと。

<sup>3</sup> 新まちづくり計画：さっぽろ元気ビジョンを実現するために策定するプランのひとつで、今後のまちづくりの考え方や、重点的に進める施策・事業などを定める中期実施計画のこと。

## 2 情報化の推進

情報を資源として生かしながら、市民生活の質の向上とまちづくりを進めていくため、平成 9 年に「札幌市情報化構想」を策定し、平成 13 年からは、この構想と理念の実現に向けて、平成 15 年までを戦略期間とする「札幌市 IT 経営戦略」の施策を実施してまいりました。

さらに今年は、「さっぽろ元気ビジョン」を具体化するプログラムを定めた「札幌市 IT 戦略」を策定し、平成 17 年度には、特に「市民サービスの向上」や「市役所の業務改革」などを実現するために、次の項目を重点として、さまざまな施策に取り組んでまいります。

- ◇ 問合先の集約化と迅速な回答を徹底する。
- ◇ 市民が意思決定できる情報提供をより一層充実する。
- ◇ IT を使った業務改革を推進する。

### 3 予算要求の重点事項

#### 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

協働による観光振興とコンベンション<sup>4</sup>事業の推進

2 百万円 ( 0 百万円 )

注 : ( ) 内は 16 年度予算額

丘珠空港整備と空港周辺のまちづくり事業 ( 企画部 )

2 百万円 ( 0 百万円 ) 【新まち等】

丘珠空港の道内航空網の拠点空港としての機能を保持するため、整備費の一部を負担するとともに、空港緑地の整備など丘珠空港周辺のまちづくり構想に基づく事業を実施し、空港と調和したまちづくりを進める。

#### 健やかに暮らせる共生の街さっぽろ

魅力あふれる地域づくりの推進

5 百万円 ( 9 百万円 )

注 : ( ) 内は 16 年度予算額

市民との協働による都市計画<sup>5</sup>制度普及事業 ( 計画部 )

5 百万円 ( 9 百万円 ) 【配分】

都市計画の制度・仕組みが市民に身近なものとなるように、市民との協働による先進地域事例紹介や次世代育成成本 ( 小学生向け ) の作成に向けた事業を展開する。

<sup>4</sup> コンベンション：大会、会議、展示会、見本市、イベントなどの非日常的な人の集まりを核として、人や物、知識、情報、技術を呼び込むしくみのこと。

<sup>5</sup> 都市計画：都市計画法では「都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業に関する計画」と定義しているが、「市民との協働による都市計画制度普及事業」では、都市を魅力と活力溢れる空間にしていくため、また、社会生活を安心して快適に送るための都市づくりを支える施策を幅広く視野に入れている。

まちのバリアフリー<sup>6</sup>化など安心・安全のための公共的施設の整備

4 8 百万円 ( 5 3 百万円 )

注 : ( ) 内は 16 年度予算額

交通バリアフリー推進事業 ( 総合交通計画部 )

4 8 百万円 ( 5 3 百万円 ) 【配分】

高齢の方や身体に障がいのある方などが公共交通機関を利用して移動するときの利便性と安全性をより向上させるため、公共交通事業者が行うバリアフリー化整備について補助を行う。

## 世界に誇れる環境の街さっぽろ

水とみどりのうるおいと安らぎのある街の実現

2 百万円 ( 0 百万円 )

注 : ( ) 内は 16 年度予算額

丘珠空港整備と空港周辺のまちづくり事業 ( 再掲 ) ( 企画部 )

2 百万円 ( 0 百万円 ) 【新まち等】

丘珠空港の道内航空網の拠点空港としての機能を保持するため、整備費の一部を負担するとともに、空港緑地の整備など丘珠空港周辺のまちづくり構想に基づく事業を実施し、空港と調和したまちづくりを進める。

歩いて暮らせる快適で美しい街の創造

2 0 8 百万円 ( 1 9 2 百万円 )

注 : ( ) 内は 16 年度予算額

道路交通調査 ( 総合交通計画部 )

4 5 百万円 ( 5 百万円 ) 【新まち等】

自動車の使われ方や道路の交通量を調査する道路交通センサス ( 全国一斉調査 ) や「人の動きを」目的 ( 通勤・通学・私用等 ) ・手段 ( 鉄道・バス・自動車等 ) 別に把握するパーソントリップ調査を実施する。

交通バリアフリー推進事業 ( 再掲 ) ( 総合交通計画部 )

4 8 百万円 ( 5 3 百万円 ) 【配分】

高齢の方や身体に障がいのある方などが公共交通機関を利用して移動するときの利便性と安全性をより向上させるため、公共交通事業者が行うバリアフリー化整備について補助を行う。

<sup>6</sup> バリアフリー：高齢の方や障がいのある方などが社会生活をしていくうえで障壁となるものを除去すること。

公共交通 IC カード<sup>7</sup>導入検討（総合交通計画部）

9 百万円（9 百万円）【配分】

公共交通の利用円滑化に向けて、交通事業者とともに、公共交通 IC カードの事業化について検討する。併せて、利用しやすい料金サービスや利便性向上策について調査・検討を行う。

市民との協働による都市計画制度普及事業（再掲）（計画部）

5 百万円（9 百万円）【配分】

都市計画の制度・仕組みが市民に身近なものとなるように、市民との協働による先進地域事例紹介や次世代育成本（小学生向け）の作成に向けた事業を展開する。

スマートサイクルプログラム in 札幌策定事業（総合交通計画部）

8 百万円（8 百万円）【配分】

札幌駅周辺の放置自転車の即時撤去、駐輪場有料化に向けた実施プログラムの策定や駐輪場整備計画の検討を行うほか、周辺事業者・市民に対する PR を実施する。

乗継施設等整備推進事業（総合交通計画部）

4 百万円（4 百万円）【配分】

札幌市乗継施設等整備基本計画に基づき、新さっぽろ駅周辺、地下鉄栄町駅について、乗継施設等の整備に関する検討・調査を行う。

都市景観重要建築物等保全事業（計画部）

5 百万円（0 百万円）【新まち等、新規】

指定重要建築物<sup>8</sup>等の所有者に対し、その保存等のために技術的援助や保存等に要する経費の一部を助成するなどの支援を行う。

（仮称）札幌市公共施設景観デザインガイドライン策定（計画部）

5 百万円（0 百万円）【新まち等、新規】

公共建築物・工作物、歩道・道路、街路灯等の公共施設における色彩や形態意匠のデザインガイドラインを策定する。

都市景観形成地区の検討および指定事業（計画部）

2 百万円（0 百万円）【配分】

都市景観条例に基づき、都心部や拠点となる地区など都市景観の形成上重要であると認める地区を都市景観形成地区に指定する等、美しい街づくりを推進する。

<sup>7</sup> IC カード：データの記録や演算を行うための IC チップを組み込んだプラスチックカードのこと。交通系 IC カードでは非接触タイプが主流となっている。

<sup>8</sup> 指定重要建築物：札幌市都市景観条例第 22 条に定める市が指定した都市景観上重要な価値がある建築物などのこと。



札幌駅前通地下歩行空間整備推進（総合交通計画部）

6百万円（11百万円）【配分】

道路空間及び憩いの空間の整備後の活用・運営体制を検討し、市民利用が円滑に行えるような活用のルール化と、その運営体制の方向性を確立するとともに、札幌駅前通地下歩行空間の整備に合わせ、接続する地下鉄・地下街施設との連携をとった地下ネットワークのサイン計画<sup>9</sup>の検討を行う。

緑を感じる都心の街並み形成計画推進事業（企画部）

7百万円（26百万円）【配分】

緑を感じる都心の街並み形成計画の実現に向け、まちづくり指針の検討等を行うとともに、都市再生総合整備事業<sup>10</sup>の整備計画を策定する。

都心交通調査事業（企画部）

50百万円（48百万円）【配分】

都心交通計画に位置づけられたP D C Aサイクル<sup>11</sup>に基づき、施策展開プログラムの具体化に向けた検討を進めるとともに、道庁東重点ゾーンにおいて交通社会実験<sup>12</sup>を実施する。

都心交通協働事業（企画部）

14百万円（9百万円）【新まち等】

都心交通計画<sup>13</sup>の具体化に向けた市民との協働事業を展開する。また、交通ルールやマナーに関する教育プログラムの検討に着手する。

## 芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ

芸術・文化の薫る街の実現

5百万円（0百万円）

注：（ ）内は16年度予算額

都市景観重要建築物等保全事業（再掲）（計画部）

5百万円（0百万円）【新まち等、新規】

指定重要建築物等の所有者に対し、その保存等のために技術的援助や保存等に要する経費の一部を助成するなどの支援を行う。

<sup>9</sup> サイン計画：方向案内、地点案内、地図案内などの案内表示や点字ブロックなどの設置位置や表示方法を統一するための計画

<sup>10</sup> 都市再生総合整備事業：都市の再生・再構築を推進するため、国が地方公共団体等に対して、ハード事業からソフト事業までを総合的に支援する事業

<sup>11</sup> P D C Aサイクル：計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、見直し（Action）を繰り返しながら、継続的な改善を行うこと。

<sup>12</sup> 交通社会実験：施策の導入に先立ち、市民の参加のもと、場所や期間を限定して施策を試行・評価するもの。平成16年度は、「無料都心循環バスの運行」、「赤レンガ前にぎわいづくり」などの社会実験を実施した。

<sup>13</sup> 都心交通計画：人と環境を重視し、魅力的で活力のある都心を実現するために、本市の都心のまちづくりを交通面から支える計画として平成16年度7月に策定された。

## ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ

### 自立した市民に育てる教育の推進

3百万円(7百万円)  
注:( )内は16年度予算額

#### サイエンス・パートナーシップ事業(企画部)

3百万円(7百万円)【配分】

地域の人材や学校の教室などを活用した実験教室を開催するとともに、指導者となる「科学ボランティア」の養成を図る。また、市内の研究機関、大学、青少年科学館などと連携し、科学に親しめる機会を提供するイベントを開催する。

### さっぽろを支え、発信する人づくり

4,520百万円(495百万円)  
注:( )内は16年度予算額

#### (仮称)札幌市立大学設置事業(企画部)

4,515百万円(486百万円)【新まち等】

平成18年春に開学を予定している(仮称)札幌市立大学の校舎の増築(16-17継続)を行うほか、備品・図書を整備、財務会計・入試・給与などの基幹システムの整備、入学者選抜試験の実施、大学の広報活動などを行う。

#### 市民との協働による都市計画制度普及事業(再掲)(計画部)

5百万円(9百万円)【配分】

都市計画の制度・仕組みが市民に身近なものとなるように、市民との協働による先進地域事例紹介や次世代育成成本(小学生向け)の作成に向けた事業を展開する。

## その他(企画調整局独自重点事項)

#### 都心部3小学校跡施設・跡地の活用(企画部)

6百万円(0百万円)【配分、新規】

平成16年3月に閉校した都心部3小学校について、具体的な活用策の検討作業を行う。

総合行政情報システム共通基盤構築事業等（情報化推進部）

505百万円（327百万円）【重点】

財務・人事・文書システムで共用可能な機能を集約のうえ、設計・開発を行い、3システムの稼動を合理的・効率的に下支えする共通基盤を構築するとともに、全庁型GISを整備し、全庁の地図を一元管理するほか、インターネット等による本市の公共施設の予約システムの設計を行う。

次世代デジタル技術活用推進事業（情報化推進部）

12百万円（0百万円）【配分、新規】

地上デジタル放送<sup>14</sup>やデジタルアーカイブ<sup>15</sup>などの次世代デジタル技術の利活用にかかる調査研究及び事業構想の策定を行う。

札幌申請モデル検証事業（情報化推進部）

8百万円（0百万円）【配分、新規】

コールセンター代行申請モデルや官民連携ワンストップモデル、窓口の多様化に即したモデル等の実証実験を行い、費用対効果を測定し、今後の窓口のあり方についての方向性を検討する。

用途地域等定期見直し（計画部）

16百万円（10百万円）【配分、レベルアップ】

札幌市都市計画マスタープラン<sup>16</sup>を踏まえた用途地域<sup>17</sup>等定期見直しを行う（平成18年3月告示予定）。見直しにあたっては、これまで以上に市民への周知・PRを図る。

公共交通ネットワーク確保対策事業（総合交通計画部）

505百万円（492百万円）【重点】

自動車を利用しがたい市民の交通手段の確保、環境に負荷をかけない公共交通網の維持を図るため、民営バス事業者に対する時限的な財政支援を行うとともに、バスネットワーク維持のために本市が実施すべき施策について調査・検討を行う。

<sup>14</sup> 地上デジタル放送：テレビ電波にのせる映像・音声情報をデジタル化したもので、高画質化やデータ放送、携帯電話などの移動体向け放送など新しいサービスが可能になる。

<sup>15</sup> デジタルアーカイブ：都市の魅力となる有形・無形の文化資産をデジタル化、データベース化して保存したもので、随時閲覧や情報発信ができるようになる。

<sup>16</sup> 札幌市都市計画マスタープラン：これからの札幌の都市づくりの指針として、目指すべき都市の将来像と、その実現に向けた取り組みの方向性を全市的視点から整理したもの。（都市計画法第18条の2に定める「市町村の都市計画に関する基本的な方針」）

<sup>17</sup> 用途地域：都市の将来像を想定した上で、都市内における住居、商業、工業その他の用途を適切に配分すること等により、機能的な都市活動の推進、良好な都市環境の形成等を図るため、土地利用の区分を行い、建築物の用途、密度、形態等に関する制限を設定するもの。（都市計画法第8条第1項第1号）

## 4 事務事業の総点検

### 事務事業の見直し

#### 内部効率

一般事務費や、効率的な執務による時間外勤務手当等の抑制

<見直し額38.0百万円>

施設の保守レベルや、維持管理業務の契約方法の見直しによる経費節減

<見直し額85.1百万円>

市民情報センター運営管理に係る業務内容の見直し

市民情報センターに設置する機器類の保守内容、ウェブシティさっぽろの運営内容、施設管理の業務内容及び情報プラザの運営内容を見直すことにより、委託料を削減した。

<効果額20.5百万円>

ネットワーク保守等に係る定期点検等の見直し

ネットワークや情報機器の保守について、定期点検の実施方法や日常の保守内容を実態に即した形で見直しを行うことにより、委託料を削減するとともに、一部情報機器について機器利用サービスによる長期契約を実施することにより全体として削減した。

<効果額50.7百万円>

通信回線使用料の削減

東区、手稲区の回線を事業者線から自営網化したことに伴い、通信回線使用料を削減した。

<効果額3.7百万円>

分庁舎維持管理に係る業務内容の見直し

分庁舎の警備業務について、人的警備を機械警備に変更するとともに、清掃業務について、清掃の頻度を下げるなどにより、委託料を削減した。

<効果額10.2百万円>

団体補助金

減額 1 件

<見直し額 0 . 2 5 百万円>

( 単位 ; 千円 )

団体名	17 年度予算額	見直し額
さっぽろプロムナード運営協議会	2 , 0 0 0	2 5 0